

肺癌肺切除における胃切除術の既往が術後呼吸器合併症に与えるリスクの検討と同合併症リスク低減に向けた方策の検討

1. 研究の対象

2009 年 1 月～2019 年 9 月に当院で原発性肺癌に対して肺切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

一般的に胃切除術を受けられた患者さんは食道胃逆流のリスクが比較的高く、誤嚥をきたす可能性が高いと報告されています。肺癌肺切除術を受けるにあたり、術後肺炎は重大な合併症の一つであり、胃切除術を受けられた方はより肺炎のリスクが高い可能性が考えられます。今回、当センターにおいて、胃切除術を受けられた患者さんが肺癌肺切除術を受けられた後の合併症などについて調査し、術後呼吸器合併症のリスクやその予防策について検討することを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

① 基本情報

性別、肺切除時の年齢、身長、体重、喫煙歴など

② 手術に関する情報

肺切除の手術日や術式、手術時間、胃切除術の術式など

③ 予後情報

術後呼吸器合併症の有無など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 副部長 木村 亨

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 主任部長 岡見 次郎

-----以上